

水野ゆうきの活動報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止期間中は、国及び県の要請等により、不特定多数の方々と接する活動は控えておりましたが、日々の議会・地域活動は怠らず、またコロナ関連情報を発信し続けておりました。10月25日以降の千葉県における協力要請等の解除・緩和等に伴い、感染対策を万全にしながら段階的に通常活動を再開しております。

千葉県新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口

☎ 0570-200-139

対応時間：24時間（土日、祝日を含む）

A'

手賀沼に繁茂する特定外来生物駆除作業視察

手賀沼とその流域河川では、近年、ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物の繁茂が拡大しており、水質・生態系などへの影響や、農業・漁業被害などが懸念されています。千葉県が令和元年度に実施した調査により**繁茂面積は約10万㎡**ということが明らかになりました。

水野ゆうきは県議としてこれまで手賀沼の環境保全について絶えず質疑を行い、森田知事時代から予算を確保しているところです。今年度は当初予算にて約1億1千万円が駆除費用として計上され、本年7月に駆除現場をボートに乗船し、視察しました。



手賀沼に繁茂する外来水生植物



機械や手作業による刈り取り



保管場にて天日干し

今年度は5月から刈り取りを開始し、**令和2～3年度あわせて約2万7000㎡**駆除したことにより手賀沼とその流域河川における繁茂面積のうち約4分の1の駆除が完了しました。

予算を確保したあとに、実際にどのような作業が行われているのかを確認し、現場の作業等を理解した上で、翌年の予算や事業につなげていくことは大変重要なことです。

シンポジウム「コロナの時代の危機とはなにか」登壇



膳場貴子キャスター（TBS『報道特集』メインキャスター）、井川信子先生（流通経済大学法学部教授）とともに学生が主体となって実施されたシンポジウム「コロナの時代の危機とはなにか～学生からの問いかけ～」に登壇し、学生が提示した4つのテーマに基づきディスカッションを行いました。緊急時には首長、行政、議員が平時の諸課題にいかに取り組んできたかが試されます。平時の取り組みなくして緊急時の対応は不可能です。

コロナはすべての国民の健康面をはじめ、あらゆる面で脅かしました。その時に自分のまちの政治家がどう動いたか、どういった政策を議会で訴えたか、首長はどのような政策をうったか、「政策ベース」での選挙・政治が問われるようにならないことを訴えました。



B'

我孫子市内危険箇所の現地調査

千葉県が維持管理している我孫子市内の道路について、水野ゆうきは保護者や自治会などからの情報をもとに現場調査を行っています。県警・千葉県教育委員会・千葉県県土整備部・我孫子市と連携し、草木が繁茂している箇所の伐採や摩耗している横断歩道の塗り直し、歩道の整備等、危険箇所等について対応しています。



国道356号横断歩道の塗り直し

水野ゆうき 主な役職

- 千葉県議会議員（無所属系会派「千翔会」代表）
- 県土整備常任委員会委員
- 千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟 幹事
- 千葉県議会スポーツ振興議員連盟 幹事
- 千葉県議会地震・津波対策議員連盟 幹事
- 千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問
- 手賀沼水環境保全協議会顧問
- 千葉県環境審議会委員（水環境部会担当）
- 一般国道356号整備促進期成同盟顧問 他ホームページに掲載

プロフィール

1983年2月19日生の38歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国口サンゼルス現地校編入。帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務（BSフジ『PRIME NEWS』担当）。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙初当選。2019年2期目当選。

水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは
公式ホームページまで <https://mizunoyuuki.com/>

